

〈概要〉

令和3（2021）年は、會津八一（1881～1956）の生誕140年を迎える。本年度は、今一度、會津八一の広範な学芸を広く市民に紹介するために、展覧会をはじめ講演会、出版、講座、巡回展などの普及活動を企画し、八一の業績を全国に向けて発信する活動を積極的に取り組んでいきたい。

秋の特別展は、會津八一が初代支部長を務めた茶道・裏千家淡交会新潟支部が創立70周年を迎えるのを記念し、茶の湯をテーマに開く。八一が終焉の地・北方文化博物館分館にある茶室を命名して揮毫した「清行庵」の看板や「坐忘」の墨跡をはじめ、禅語を揮毫した書作品を展示。さらに、庭師田中泰阿弥や陶芸家との接点を示す作品や資料も紹介する。併せて伊藤家や裏千家が所蔵する茶道具類も陳列する。

春の企画展は、八一の青春時代に取り組んだ俳句をテーマに、若き日に熱中した八一の俳句とその魅力に迫りたい。夏は教育者としての八一について、門下生に贈った書画や、県内の教育施設に掲げている八一の書などを紹介。冬は、『會津八一全歌集』が刊行して70年を記念し、歌人八一とその生活ぶりをテーマとした企画展も計画している。併せて第15回写真コンテスト入賞入選作品展を開催する。

普及活動では、①會津八一祭記念トークショー（席上揮毫）②当記念館館蔵品の名品図録の刊行③八一のいしぶみ（新潟編）の刊行④八一往復書簡集「雁魚来往」第9集の刊行（彫刻家、陶芸家）⑤館長講座の開講⑥写真コンテスト全国巡回展などを予定している。

新潟市名誉市民・會津八一の幅広い業績を伝えていくためにも、広い世代に興味関心を抱かせるような視点で企画を展開していきたい。

〈事業計画の内容〉

（ア）展覧会事業 開館日数 282日

分類	展覧会名（仮称）	会期	内容
1 企画展	八一を知る・八一が分かる ～俳句編～ 同時開催：寄贈記念 浅井慎平ハイ クグラフィーの世界	4月6日（火） ～6月27日（日） 72日間	今回は八一の業績のなかでは初期にあたる〈俳句〉をテーマに企画。新潟中学学生時代の18歳から昭和4年の48歳まで句作した八一の俳句やその活動を、墨蹟、書簡、新聞、雑誌などで紹介。若き日に熱中した八一の俳句とその魅力に迫りたい。また昨年、写真家・浅井慎平氏が寄贈した浅井氏の俳句入り写真53点も紹介する
2 企画展	會津八一の「学規」と教育	7月6日（火） ～9月23日（木祝） 70日間	會津八一は教育者として、有恒学舎、早稲田中学校、早稲田大学などで教鞭をとり、多くのすぐれた門下生を輩出している。改めて八一の教育観や教師として残した言葉を取り上げたい。特に「学規」に関連する作品資料や、新潟小学校など教育現場に残した作品資料を展示し、八一の門下生の活躍も紹介したい。
3 特別展	會津八一生誕140年・裏千家淡交会 新潟支部創立70年記念 ～喫茶去～八一と茶の湯の世界	10月2日（土）～ 12月12日（日） 62日間	1951年、裏千家新潟支部が創設し、會津八一はその初代支部長に就任した。創立70周年を迎えるこの節目の年に八一と茶の湯をテーマに企画したい。展覧会では、多岐にわたる八一と茶の湯との接点を、県内外の作品や資料で紹介する。さらに、「裏千家所蔵品」なども合わせて紹介したい。
4 企画展	『會津八一全歌集』刊行70年 會津八一の短歌と生活 同時開催 第15回會津八一の歌を映す写真コ ンテスト入賞入選作品展	12月21日（火）～ 令和4年3月27日 （日） 78日間	当記念館所蔵の生活遺品類（文房具、衣服、ステッキ、将棋盤など）と、植物を詠んだ短歌中心に書画作品を紹介する。また、昭和26年3月に刊行され、それにより読売文学賞を受賞した『會津八一全歌集』にまつわる原稿など、作品資料も紹介したい。また第15回写真コンテスト入賞入選作品を展示する。

展示替えのための休館日	6/28～7/5（8日間）、9/24～10/1（8日間）、12/13～20（8日間）		
作品解説会	企画展 期間中	月2回（第2、4日曜日）	午前11時
	特別展 期間中	毎週日曜日	午前11時

(イ) 普及活動 ※交渉予定も含む

〔講演会〕

八一祭記念トークイベント 出演者：松村雄基氏（俳優、書家）、角田勝久氏（新潟大学准教授）を予定
内容：「想いを形に～美をもとめて」—八一のこだわりを迫る（仮題）
日時：令和3年7月31日（土）午後2時～3時半
会場：メディアシップ 日報ホール
定員：150名

特別展記念講演会 講師：泉田玉堂師（大徳寺松源院老師）※交渉予定
演題：「茶の湯と禅について」
日時：令和3年10月中旬 午後2時～3時半
会場：メディアシップ 日報ホール
定員：150名

秋・体験講座 「茶杓を作ろう」または「お茶会」※裏千家淡交会新潟支部と検討中
講師：未定
日時：令和3年11月中（特別展期間中）
会場：未定

春・文芸講演会 講師：中原道夫氏（俳人、新潟日報俳句選者）
演題：「生きる糧、俳句」
日時：令和3年6月13日（日） 午後2時～3時半
会場：メディアシップ 日報ホール
定員：120名

夏・文芸講演会 講師：未定
演題：未定
日時：未定
会場：メディアシップ 日報ホール（予定）
定員：120名

冬・文芸講演会 講師：未定
演題：未定
日時：未定
会場：メディアシップ 日報ホール（予定）
定員：120名

〔出版〕

☆會津八一記念館所蔵品 名品図録の刊行
記念館収蔵品のなかから名品50選を収録

☆「會津八一のいしぶみ」～新潟篇～の刊行
新潟県内にある八一の自詠自筆の歌碑、揮毫碑、句碑を図版、解説、地図などで紹介。
A5版 カラー48頁 1000部 定価300円 新潟日報事業社刊

八一往復書簡集「雁魚来往」第9集の刊行
彫刻家喜多武四郎、陶芸家齋藤三郎、小山富士夫らと會津八一との往復書簡の読み下し文、註釈、
関連資料図版を掲載。A4版 モノクロ112頁 200部 定価2200円 新潟日報事業社刊

〔講座〕

☆館長講座

野中館長による連続講座

テーマ：書に親しむ 6回シリーズ 月1回

期間：5月16日（日）、6月22日（火）、7月18日（日）

8月10日（火）、9月7日（火）、10月24日（日）

会場：日報ホール

定員：100人

参加費：1回500円 6回2500円

学習講座（会費で充当）

會津八一の歌を読む会「かまづかの会」

講師：若月忠信氏（文芸評論家）

日時：毎月第1土曜日 午後1時30分～3時

会場：砂丘館

出前講座

- ・4月に會津八一の作品を所蔵しているところ、あるいは団体鑑賞でよく記念館を利用している学校や公民館などに出前講座の案内を送り、依頼のあるところから実施

〔公募〕

「會津八一の歌を映す」第15回秋艸道人賞写真コンテスト

①令和3年4月中：公募ポスターと応募要項の制作と発送

② 11月中旬：締め切り

③ 12月上旬：審査・結果発表

④令和4年2月：表彰式

〔巡回展〕

第14回「會津八一の歌を映す」写真コンテスト巡回展

新潟県	ミュゼ雪小町（上越市）	4月10日	4月25日	入選入賞30点
奈良県	奈良県立図書情報館	5月1日	5月16日	入賞入選30点
東京都	中村屋サロン美術館	6月2日	7月4日	入選入賞30点
奈良県	いかるがホール（奈良県斑鳩町）	7月12日	7月31日	入賞作品7点
京都府	三千院	8月	予定	入賞作品7点
香川県	高松市市民活動センター	10月	予定	入賞入選30点、複製
新潟県	胎内市産業文化会館（中条會津八一会）	11月	予定	入賞入選30点、過去大賞12点

〔その他〕

鑑定会 春秋2回を予定

〈春の部〉

日時：令和3年6月2日（水） 午後1時30分～3時

会場：會津八一記念館

〈秋の部〉未定

所蔵品の貸出

早稲田大学會津八一記念博物館展覧会 松丸東魚篆刻作品等受贈記念

「松丸東魚の仕事～萬象一刀の中にあり～」

会期：2021年3月1日（月）～4月30日（金）

会場：早稲田大学會津八一記念博物館2階グランドギャラリー

※記念館所蔵品10点を貸し出し中

〈松丸東魚刻印5点、松丸東魚書簡3点、會津八一書簡1点、會津八一書（松丸東魚押印入り）1点〉